

平成 28 年度 第 1 回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 28 年 5 月 17 日（火） 朝霞市 産業文化センター 研修室 第二

I. 平成 27 年度第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成 27 年度第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

平成 28 年度の連絡会活動の年間スケジュールおよび、第 1 2 回川でつながる発表会について、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。

■主な意見等

<今年度の連絡会活動全体について>

- ・今年 3 月に新河岸川流域水循環マスタープラン検討委員会を発足した。水循環基本法に基づく水循環協議会との関係性は、他流域の事例を参考にしながら、各組織の位置付けを整理していくこととなる。
- ・本連絡会をベースにした市民参加の場を設け、市民と一緒にマスタープランの検討を行いたいと考えている。開催のスケジュールについては検討中である。
- ・水循環基本法には治水の観点がかほとんどない。新河岸川流域では総合治水の取組みを行ってきた経緯もあることから、水循環マスタープランとして、治水・利水・環境の観点で検討していくことを考えている。水循環基本計画の動向は今後も把握していく。
- ・連絡会資料は当日配付だけでなく、暫定版でも良いので事前に送付してほしい。

<流域しんぶん里川について>

- ・しんぶん里川について、紙面に余裕があれば川まつりの様子の写真を掲載してほしい。

<川でつながる発表会について>

事務局が提示した 3 案及び、連絡会メンバーから出された案について意見交換を行った。

(案 1 北区)

- ・荒川下流河川事務所の管轄施設のため、岩淵水門の内部の見学は可能である。
- ・岩淵水門の内部を見る機会は貴重なので是非見学したい。
- ・地元の小学校によるビオトープの活用方法に興味がある。
- ・開催地が北区ではない場合も、岩淵水門のパネルで水門内部の紹介は可能である。

(案 2 和光市)

- ・和光市立大和中学校は過去に白子川で水質調査を行っており、発表校として期待できる。

(案 3 ふじみ野市)

- ・福岡河岸記念館見学は歴史を交えた企画となるため、参加を広く募れる点でよい。
- ・福岡河岸記念館の「離れ」について、2 階・3 階は基本的に非公開ではあるが、交渉次第では見学することも可能である。

(その他連絡会メンバーからの案)

- ・林川や砂川掘等の源流部分を見たいが、一般の人の興味・関心を引くことが難しい。

■決定事項

- ・小中学校や関係者との調整状況を踏まえ、事務局の提示した 3 案から開催候補地を決定する。

III. 勉強会

次回勉強会（流域の歴史に関するワークショップ）の準備に向けて、連絡会メンバーの流域における活動時期を確認した。法政大学水文地理学研究室より、「身近な水質調査と新河岸川流域の水質特性（4）」について説明があり、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。法政大学からは、連絡会メンバーに一斉調査への継続的な協力が呼びかけられた。

■法政大学の勉強会（一斉調査）に関する主な説明内容

- ・水質調査は、正しい調査方法（水の採取を流心で行う・採取時の水温等の情報を正しく計測する等）で行う必要がある。
- ・瀬切れが起きた際の川の水質の変化について、野川の事例では伏没から回復する時には周辺の地下水と同じ水質になる。また、伏没する時には上流と同じ水質になる。

IV. 情報交換

◆平成 28 年度第 2 回連絡会開催について

- ・第 2 回新河岸川流域川づくり連絡会は、9 月中旬の開催を予定する。